

区政のここが聞きたい

第4回定例会一般質問(要旨)

11月21・22日



※本会議、常任委員会、特別委員会、議会運営委員会及び予算・決算特別委員会の録画映像を、区議会ホームページで公開しています。

ともに創ろう、
豊島の未来。



自民党豊島区議員
有里 真穂



●災害対策について

緊急災害対策システムの更新を実現してほしい。

新総合防災システム導入の実現については、6年度当初予算に反映させ、7年度からの運用を目指していきたいと考える。

東長崎駅北口まちづくりに関し、自分の代では実現できないのではとの地権者の声を聞く不安解消の取組と今後の対応は、

準備組合に、今後の進捗を権利者に分かりやすく説明等を行うよう指導していく。引き続き準備組合の運営を支え、早期の都市計画提案に向け支援する。

●子育てと教育について

外国籍や障害のある幼児の教育の質を高めるための対策は、

豊島区アプローチ・スタートカリキュラムに、園児の実態に即した内容を更に追加するとともに、特別支援学校の教員を講師に招いた研修を実施する等、教員の指導力を向上させていく。

子どもスキップの受け入れ児童数増加による課題への対応や今後の学童クラブの在り方は、

人材確保と定着のため、正規職員の増員などにより対応していく。質とスキルの向上は、都の専門研修等を実施している。今後は、国の支援策などを確認しながら、学童クラブの質がより向上するよう努めていく。

千川児童遊園内のキャッチボール場の代替地確保の検討状況と、継続利用できる2施設の今後の対応は。また、公園トイレ改築の進捗状況は。

現在のところ、代替地は見つかっていない。残り2施設は老朽化のため修繕を考えている。トイレは、来年度は工事を実施できるよう準備を進めている。

子供たちが身近にスポーツができる拠点を更に増やしてほしい。区の考えは。

11月より「子どもの遊び場プロジェクト」を立ち上げ、既存施設を活用した子供の遊び場確保の検討を開始した。可能な限り増やせるように努めていく。



子供の遊び場

●高齢者に優しいまちづくりについて

今後の単身高齢者の終活支援と制度の周知方法は、

その方の希望や資産などの状況に応じた終活支援を充実させ、広報、HPのほか、区民ひろば等での出前講座実施等により、周知を進めていく。

●豊島区基本構想、豊島区基本計画の策定と西部地域における文化拠点について

区政運営の最高指針である基本構想や基本計画の策定を1年前倒しにする理由と意義は。

現在の基本計画は3年度に見直しを行ったが、コロナ禍のさなかで、様々な変化を十分に反映するには至っていない面がある。区政を取り巻く環境の変化を基本構想等にいち早く反映させるべく、策定を前倒しする。

千早図書館改築に伴い、子供たちが児童文学に触れ、想像力を育む場として特色ある図書

「豊島新時代へ人が主役の魅力あるまちに」

国は今後、物価高対策のための重点支援地方交付金を増額するとしている。その場合の使途についての区の考えは。

区は日常生活に不可欠な公共性の高い事業のうち、値上げ分を転嫁しにくい事業者等を支援してきた。新たな事業実施等も含め活用案を早期に検討する。

「豊島新時代へ人が主役の魅力あるまちに」



公明党
高橋 佳代子



国は今後、物価高対策のための重点支援地方交付金を増額するとしている。その場合の使途についての区の考えは。

区は日常生活に不可欠な公共性の高い事業のうち、値上げ分を転嫁しにくい事業者等を支援してきた。新たな事業実施等も含め活用案を早期に検討する。

●教育施策について

教育ビジョン改定作業を進めているが、実態をどう把握し、児童・生徒、保護者の意向をどのように反映するのか。

既存データを活用しながら、子どもたちの意見の表明機会を保障し、実態と意向を反映したものになるよう取り組む。

子どもを孤立させない取組が全国に広がる。今後、誰一人取り残さない学びの場の保証に向け、どのように取り組むのか。

メタバースの活用、出席の取扱いに関する方針の検討など取組の充実を図り、総合的な登校対策の計画を策定する。

●子ども施策について

本区も国の「子ども誰でも通園制度」のモデル事業に参加し、より良い制度となるよう検証すべきと考えるが、いかがか。

6年度の参加を検討する。事業内容など、中高生センタージャンプの在り方を検討する

館を作ってほしい。区の考えは。

細部に子供がわくわくとするデザインを取り入れるほか、親子で靴を脱いでくつろぎながら読み聞かせができるスペース設置など、趣向を凝らしていく。

●池袋保健所について

新保健所の計画が定まる時期であるが、具体的な女性の健康支援機能の検討状況は。

窓口やレイアウト等、病院等との連携・協働も含め、ハードとソフトの両面から検討中。

●池袋駅コア整備方針2024(素案)について

上下東西南北をつなぐデッキ・地上・地下に回遊性のある結節空間が整備されると歩行者の利便性がどのように変わるか。

地下通路の混雑の緩和や利便性の向上によるスムーズな移動が確保されると考える。

ウォーカーブルなまちづくりのカギである、池袋駅地下通路の更新計画について、区はどのように推進していくのか。

再開発事業を通しての整備を想定しており、関連施設に係る動向を見ながら検討していく。

●街路樹の管理について

台風前に街路樹の定期的な剪定を行い、地域の安全性を高めるよう求める。



子ども施策の充実を

多様性を認め合う社会の実現に向けて2



立憲・れいわ
西崎 ふみか



●LGBT理解増進法の豊島区の取り組みについて

区の認識及び今後の方針は、

性的指向やジェンダーアイデンティティの多様性に関する日本初となる法律が制定されたことで、男女の性別にとらわれない、ジェンダーの多様性に寛容な社会の実現に向け大きく前進したと認識。今後も当事者に寄り添った支援や普及啓発、区



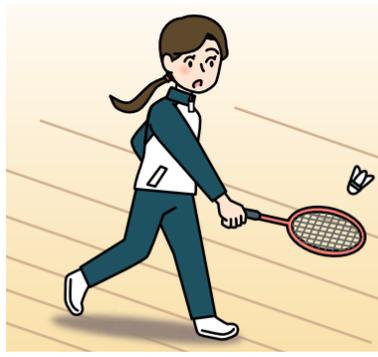
多様性を認め合う社会へ

査を早急に行い、建替えに關しての個々の課題をしっかりと把握すべきと考えるがいかか。

●平成28年度に千148棟の分譲マンションにアンケート調査を実施。区分所有者が管理に非協力的等の課題を把握している。

●学校開放について

●学校長やその関係者は、学校開放事業について、開かれた学校づくり等その本質を理解し、利便性の良い事業にする必要がある。また、小学校は防災の拠点でもあることから、地域と関わりをもっと持つべき。



学校開放事業

●コロナ禍対応終了後の運用を全校に改めて確認する等、今後も適正な運用に取り組む。

●公衆衛生について

●区は公衆衛生の観点や災害

区民が安心して、安全な生成AI活用ガイドラインの策定・推進で、区民サービスの向上と職員業務負担削減、効率化の両立を!



無所属元気の会
小林 弘明



生成AIは安全?

●ChatGPTをはじめとする、生成AIの活用について

●生成AIの導入により、どのように区民還元をするか。

●業務の効率化により生じた時間を人にかきできない業務に振り分けることで、区民サービスを向上させることができる。

●生成AIの将来的な応用分野について

時の給水や入浴支援を担っているが、公衆浴場が池袋本町地域をはじめ地域から減少していることをどう考えているか。

●公衆浴場は重要な役割を担っている認識。今後も経営支援の継続に努める。

●高齢者の入浴機会の確保をどのように考えているか。

●重要な課題と認識。高齢者が安心して入浴できる施策の検討を進めている。

●防災の観点から、旧文成小学校において給水や入浴が可能となる運用を検討しては。

●旧文成小学校を含むほとんどの救援センターには発災時、水道水が活用できるように応急給水栓を設置している。発災時の入浴に関しては今後検討する。

●介護保険について

●介護保険制度は短期間で制度が変わるため、事業者の負担が増え、また高齢者が理解するには複雑である。様々な書類等を簡素化すべきでは。

●事業者の一層の負担軽減になるよう引き続き検討していく。また、高齢者に分かりやすい通知等の作成に努めていく。

野について、区長の見解は。

●来庁不要な区役所などに資する技術を積極的に取り込む。

●豊島区の生成AI活用ガイドラインについて

●先行自治体では、生成AI利用時の情報漏洩対策が講じら

地元密着、新しいまちづくり



自民党豊島区議員
井上 幸一



れているが、本格導入時の運用環境整備に關する区長の見解は。

●ガイドラインを策定したが、本格導入にあたっては、職員の意識醸成や高度なセキュリティの担保などが重要と考える。

●治安対策について

●いじめ問題、登下校時の不審者対策、SNSを通じた犯罪などに對する教育・指導は。

●年3回以上いじめに關する授業を行い、自分も他者も大切な存在であること等を指導。登下校時の不審者対策では、遭遇した際の具体的な行動を定期的に確認。SNSを通じた犯罪対策では、セーフティ教室や「SNS東京ノート」を活用した情報モラル教育を実施。

●ごみ問題について

●集団回収の位置付け及び報奨金の考え方は。

●ごみの減量やリサイクル意識の醸成に加え、区民が地域活動に参画する接点にもなっているとの観点から、大変意義深いと捉えている。報奨金は、実践団体の地域コミュニティ活動の貴重な原資になっていると認識。

●資源の持ち去り対策は。

●区の許可を受けずに持ち去る行為を条例で禁止。早朝の巡回パトロールの実施、持ち去り行為者への注意・指導、集積所への看板の設置、チラシの作成・配布などで対策。

●池袋本町の街づくりについて

●都市計画道路整備の意義と

周辺の街づくりに關する考えは。また、現在の用地取得状況は。

●骨格的な都市計画道路を整備するとともにその沿道を不燃化し、延焼遮断帯を形成することとは、燃え広がらないまちの実現において大変効果的と認識。

●特定整備路線の用地取得率は、4年3月末時点で、補助73号線は50%、補助82号線は73%。

●都市計画道路整備に伴う町会の再編成の手順は。

●町会は任意団体のため、関係する地域で十分な協議を重ねた上で、自主的に再編成する。区は、再編成された町会の規約、役員名簿等の提出を受け、関係機関に周知する。

●北池袋駅の第1雲雀ヶ谷踏切の今後の計画は。

●都からは補助82号線が線路下を通る地下構造になると聞い



雲雀ヶ谷地下道踏切

ている。

●池袋本町4丁目歩道橋における子どもの通学路としての安全を確保するための取組は。

誰一人取り残さない、やさしさあふれる街豊島



公明党
北岡 あや子



●補修作業と併せて、手すりの延伸や児童向けの注意看板の設置、ストップマークの路面標示などの安全対策を行う。

●防災震災対策について

●誰でも安心して避難所生活が送れるよう、備蓄食の種類を増やすことを検討しては。

●備蓄物資の見直しの中でムスリムやベジタリアン、ヴィーガン食等菜食主義の方に対応した備蓄食導入を検討していく。

●誰一人取り残さない、やさしさあふれる街豊島

●安心して取り組める環境づくりを今後更に進めていく。

●都の卵子凍結事業に對する区の認識は。

●女性が自分らしく人生を送るための選択肢が広がるメリットがあると評価。一方で、様々なリスクも含め卵子凍結の正しい知識の情報提供が重要と認識。

●私立幼稚園給食費の多子計算に係る年齢制限を設けないよう求めるが、区の考えは。

●多子世帯への経済的負担軽減の重要性に鑑み、見直しに向け検討を速やかに行う。

●子ども施策について

●児童相談所における児童福祉司の増員・養成やフォロー体制についての考えは。

●引き続き計画的な人員増に努める。加えて、定期的な研修を実施するなど児童福祉司の対応力を向上させ、安心して業務に従事できる体制整備を図るとともに、独自の研修計画を活用し、更なる組織強化を図る。

●地域でのアドボケイト育成や、アドボケイトによる子どもたちの声を聴く環境づくりを求めるが、区の考えは。

●まずは地域団体等への出前講座や保育園等の職員を対象とした研修を実施し、地域におけるアドボカシーの理解者の増加を図る。加えて、区におけるア



備蓄食料

●複数名の防災士を救援センターに配置するため、防災士資格取得助成の対象人数の増員を求めるが、区の見解は。

●まずは全ての救援センターに1人ずつ配置できることを目標としている。居住地の偏りがないようにするため、助成対象者の増員についても検討する。

●少子化対策について

●安心して不妊治療に取り組むには、パートナー間での価値観の方向性の一致が必要。一緒に相談できる窓口の設置や講演会等環境づくりを求めるが。

●相談や講演会への参加がパートナーと一緒にできるよう考

●児童相談所における児童福祉司の増員・養成やフォロー体制についての考えは。

●引き続き計画的な人員増に努める。加えて、定期的な研修を実施するなど児童福祉司の対応力を向上させ、安心して業務に従事できる体制整備を図るとともに、独自の研修計画を活用し、更なる組織強化を図る。

●地域でのアドボケイト育成や、アドボケイトによる子どもたちの声を聴く環境づくりを求めるが、区の考えは。

●まずは地域団体等への出前講座や保育園等の職員を対象とした研修を実施し、地域におけるアドボカシーの理解者の増加を図る。加えて、区におけるア

●セーフティ教室...非行・犯罪被害を防止するために、都内の公立小・中学校と都立学校で毎年実施している授業。不審者対応訓練、交通安全教室、薬物乱用防止教室、企業によるスマートフォンの安全な利用に関する出前講座等を行い、児童・

生徒の危険予知及び危険回避能力の育成を図っている。
●SNS東京ノート...情報モラルについて、児童・生徒が主体的に考え、学ぶための補助教材。毎年内容を見直しながら、都内公立学校の全ての児童・生徒に配布。

●特定整備路線...東京都が防災都市づくり推進計画に基づき、令和7年度までの整備を目指して、市街地の延焼を遮断し、避難や救援活動の空間ともなる防災上の効果の高い都市計画道路。

●アドボケイト...意見表明が困難な子どもの声を聴き、意見表明の支援や意見の代弁を行う者。
●アドボカシー...意見表明が困難な子どもの声を聴き、意見表明の支援や意見の代弁を行うこと。

ドボケイトの育成や普及啓発の

在り方を検討していく。

時勢を反映した豊島区政へ！



立憲・れいわ
中山 よつと



●男性育児の支援制度について

問 妊娠期からの男性育児支援事業におけるニーズ調査の内容やプロモーション方法は。

答 調査内容は、アンケート調査やインタビュー調査を想定。プロモーションについては、困ったときに助けを求めることができる「受援力」の向上について啓蒙活動を実施。



男性育児支援

●監査委員制度について

問 子ども家庭支援センターの男性向け育児セミナーに行けない方の代替方法は。また、区民ひろば等との連携状況や課題は。

答 3年度から講座のYouTube配信を行っている。連携については、育児相談や発達相談を18箇所の区民ひろばで実施。今後も提供方法などを工夫する。

問 内部統制制度導入等に伴い増加することが見込まれる業務に対応するため、議員選出の監査委員を2名にしては。また、増員以外の方法で対応する場合、その方法で十分であると考える理由は。

答 本区の監査委員の構成は、バランスよく多角的な視点が過不足なく確保されている。内部統制制度を導入することで、効率的で実効性のある監査の実施が想定されることから、監査委員の定数を見直すほどの業務量の増加があるとは考えていない。

区政の歪みを直し、住民要望に応えた未来に向けて



日本共産党
垣内 信行



●学校改築、公園用地のための新たな区有地確保について

問 学校改築を遅らせ、格差を広げている認識はあるか。改築の一番の課題である仮校舎の用地確保に全力を尽くすべき。また、新たな土地の取得は、公園面積拡充に必要な課題では。

答 学校間格差を広げている認識は持っていない。学校改築についてはスピードを上げていく。また、学校改築や公園に係る用地の確保を全力で進めていく。

●住民本位の住宅対策について
問 あらゆる年齢層の方が、ここに住みたい、住み続けたいと



学校改築

●既存事業の見直しや新たな発想での事業展開を進め、住宅施策の充実を図る。総合的な観点から対応が必要と考える。

問 住宅マスタープランの後期計画の見直しに当たっては、区民需要を踏まえた必要供給数、到達目標等を盛り込むべき。また、大本の基本計画についても具体的な数値目標を掲げよ。

答 都のマスタープランとも整合を図り、目標を掲げる。基本

中長期的な視点で豊島区の未来を描こう！



維新・無所属
ふるぼう知生



●高野区政の検証について

問 時代と共に区民ニーズが変化することを鑑み、高野前区長が抱いていた基本方針や事業について検証を行うべき。

答 行政の役割・政策の方向性についての検討、継続事業の必要性等について再考している。常に検証・見直しを行い、区民目線の区政運営を実現する。

●豊島区公共施設等総合管理計画について

問 公共施設に係る経費削減を目的とし、施設の延床面積の削減目標を定めてから今年で8年目となる。実績と区の見解は。

答 計画の個々の事業における数値目標は実施計画の中で示す考え。安心住まい提供事業は、いつでも入居できるように、数少ない世帯用含め各地域に良質な住宅を借り上げよ。また入居資格の要件の改善を。

●低所得者対策について
問 生活保護の住宅扶助費は、22年間で上がっていない。家賃、物価が高騰の中で、妥当な金額と言えるか。区として支援せよ。

答 今後この基準では十分でない認識し区長会を通じ適切な基準設定を要望している。区の法外保護等で賄う性質ではない。

●「公共」の役割としての働く環境の整備について
問 会計年度任用職員給与決定に際し時給1千500円を最低ラインにする考えはあるか。

答 係る職員の報酬額は人事委員会勧告に基づく給料表に準拠。目標金額を別に掲げる考えはない。今後も勧告を踏まえ、社会情勢に適應するよう随時改善。

●児童養護施設退所者など支援事業について
問 児童相談所一時保護を経て養護施設や里親の下で暮らした若者への区独自の給付型奨学金を恒久的に行う財源確保は。

答 子ども若者応援基金を活用。退所した若者は社会全体で支えるべく事業の周知に取り組み、全庁挙げて基金確保に取り組み。

誰ひとり取り残さない、としまのまちづくりへ

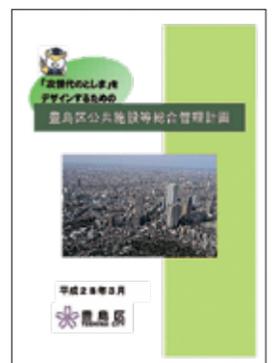


立憲・れいわ
塚田 りつこ

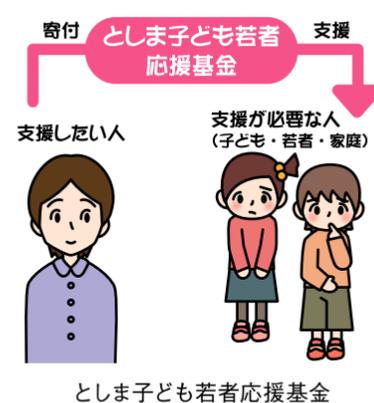


●東池袋駅周辺のまちづくりについて
問 東池袋駅周辺に更に回遊性を持たせるような工夫が必要だ

と考えるが、区の見解は。
答 池袋駅と東池袋駅との連携を強化し、区全体の回遊性の向上にもつながるように取り組む。



豊島区公共施設等総合管理計画の表紙



としま子ども若者応援基金